

## 中小企業・労働者を守る産業政策

# 業界再建へ最後の切り札

## 大企業の収奪と闘う「政策協議会」

- ① 大企業と協同組合との対等取引を実施する上で必要条件として、協同組合の自立を促進する12項目を労使での合意を実現。
- ② 09年4月より値上げを目論んでいたセメント価格の引き上げを阻止。
- ③ ゼネコンへの過剰サービスを廃止し、土曜稼働・袋洗浄を撤廃させたこと。
- ④ バラ専を復活してバラ運賃の値上げと先方引取車輛をなくすことを明らかにした。
- ⑤ 集約にあたり出入り業者の既得権を確保。
- ⑥ 値崩れにつながる限定販売方式とブロック対応金を廃止し、生コン価格の値上げの工程表を明らかにした。



この成果を目標達成に繋げよう

今後の業界再建のカギとなるのは「契約ベース」から出荷ベースへの価格決定システムの変更、生コンの新価格販売(標準価格:18,000円)を4月1日から完全実施、そして「業界再建のための12項目」の完全実施することの他ありません。

- ⑦ 中小企業の砦協同会館アソシエやグリーンコンクリートセンターが開設。
- ⑧ 産業政策研究会を設立し、政治の力で需要創出の方向性に。
- ⑨ 組合総研による労使共同の教育学習活動を強化。
- ⑩ 生コン業界の知的レベルアップを目指す資格制度実現に向けての取組み強化。
- ⑪ アウトとインの大同団結運動が具体的に進んだ。

### ■大企業のお先棒をかつぐ「K労組」

一方、K労組などは中小企業潰し、労働者への犠牲転嫁、大企業の保護を目論み労働組合を労使間競争に引きずり込んでいます。

**生コン産業政策協議会** (生コン産労・全港湾大阪支部・連帯労組関生支部) 大阪市西区川口2-4-28  
Tel.06(6583)5546

# 10春闘共同ニュース

2010年  
3月5日号

# 大幅賃上げは、中小企業が大企業と闘うために必要なものです。

## ——春闘で大幅賃上げを勝ち取ろう!——

●賃金15,000円アップはようになるのか?

The image shows two salary slip comparison tables. The 'before' table (left) shows a total salary of 204,300 yen, and the 'after' table (right) shows a total salary of 210,300 yen, representing a 6,000 yen increase. A callout box points to the 'after' table with the text '賃上げ後の給料明細' (Salary slip after wage increase).

before		after	
項目	金額	項目	金額
基本給(月給)	204,300	基本給(月給)	210,300
乗務手当	60,850	乗務手当	65,350
住物手当	60,850	住物手当	65,350
家族手当	7,000	家族手当	7,000
食事手当	15,500	食事手当	13,500
残業手当	80,152	残業手当	71,050
昼(夕食)買上	21,736	昼(夕食)買上	17,052
合計	204,300	合計	210,300

●建交労の組合員がなぜ、連帯労組に組織移行するのか?

組織移行されている方の声として「建交労は労働者の権利を守ろうとしない」と、反労働者性を訴えています。

### 今期の春闘の目玉として!!

産業別賃金制度……………本勤だけでなく未組織・既組織を含め生コン業界で働く労働者は運転手・製造・技術者全ては、一定の賃金でないと使ってはならない。

産業別雇用制度……………日々雇用も本勤も年間契約をする。  
(一定以上の最低保障をする)

産業別福祉制度……………産業別に設立  
女性労働者の処遇改善…今までの要求の中で未解決な事項を今春闘で実現する。

◎3労組の集団交渉は、3月10日に始まり3月31日が最終日です。  
相手の出方により、昨年同様ストライキをはじめ、あらゆる戦術を行使します。

～ウィリアム・アーサー・ルイスの学説によると～

中小企業を生かす道は大幅賃上げ、雇用保障、福祉の充実闘争以外にはない。「生産性が高いから賃上げをするのではなく、高い賃金、福祉だから高付加価値のものを創るのだ」アメリカ大統領「ルースベルト 議会での発言」の活用

※—ウィリアム・アーサー・ルイス(1915年～1991年)—  
イギリスの学者であり、ノーベル経済学賞を受賞。また、ノーベル平和賞以外でノーベル賞を受賞した初の黒人である。